

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 4. 14

下水道機構の『新技術情報』 第137号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

普段は自宅から駅までバスを利用していますが、春の陽気に誘われて、先週からスニーカーを履いて歩いています。桜は散ってしまいましたが、芝桜、小手毬、さつきなど次々に花が咲き始め、清々しい気持ちで通勤しています♪皆さんも少しだけ早起きして春を感じてみませんか？

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第137号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・4月の技術サロンは東京都下水道局計画調整部計画課長 新谷氏をお迎えして開催しました
- ・4/10(木)にWeb版機関誌「下水道機構情報 plus+」第5号を配信しました！

■機構の動き

- ・今週は、特に行事はありません

■Tea Break

- ・さくら咲く (技術評価部 さくら好男さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・東京下水道設備協会様より情報提供いただきました！
記念公開講演会「安全・安心な社会を目指して---水とは何か」の開催について
- ・今回から2回にわたり、4/1 付着任の機構ニューフェイスをご紹介します♪

■国からの情報

- ・4/11 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

●今回のテーマは、「東京都下水道の事業展開 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて」でした。

新谷課長は昨年4月にもゲストにお迎えして「東京都区部の下水道事業「経営計画2013」の取組」というテーマでご講演いただき、今回はその続編となるもので、東京オリンピックの開催が決定して、半年が経過し東京都の下水道事業の展開がどう変わったのかというのが中心で、まず最初に東京都下水道の概要、2020年東京オリンピックパラリンピックの概要、オリンピック・パラリンピック開催に向けた下水道の取組とお話がすすめられました。最後に、東京オリンピックはゴールではなく、その先に人口減少、技術の継承などの課題がありその先を見据えてということでお話がすすめられました。今回は、業界誌の記者の方を含め84名の方が参加され、お話の中で、「これは私見だから記事にはしないで！」という場面が多々ありました。

さて、次回のサロンは、5月8日(木)17:00から18:00。講師は4月より当機構企画部兼研究第一部長となった三宮武より、『下水道機構におけるこれからの抱負と「下水道の資源・エネルギーの活用に関する最近の話題」』というテーマで開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●4/10(木)にWeb版機関誌「下水道機構情報 plus+」第5号を配信しました！

パソコンの設定等によっては、ご覧いただけない場合があります。この場合は、お手数をおかけしますが、次のアドレスにアクセスをしてご覧ください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/index.html>

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

●平成26年5月8日(木)17:00~18:00

行 事：第326回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：下水道機構 三宮 武 企画部兼研究第一部長

テーマ：『下水道機構におけるこれからの抱負と

「下水道の資源・エネルギーの活用に関する最近の話題」』

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●さくら咲く (技術評価部 さくら好男さんからの投稿です)

今年は、「突然！」春が来たという感じですが。先月の初めごろは、非常に寒く、本当にこれから春が来るのかと、思えるような日が続いており、気象庁の桜開花予想を半信半疑で聞いていたような気がします。しかし、あれよ、あれよ、という間に、桜

が満開となってしまいました。機構のビルの窓から、神田川の川面が、桜の花びらで真っ白になり、ゆっくりと流れる「花筏」が見え、本当に「春が来た！」と実感します。

今年の夜桜は、どうでしたか。ところで、桜の寿命はどれくらいなのでしょう。ソメイヨシノは、60年位と比較的短いようです。しかし、千年を超える桜もあるようですが、超えているものはすべて「エドヒガン」だそうです。インターネットで調べてみると、山高の神代桜：約1800～2000年・根尾の淡墨桜：約1400～1500年・素桜神社の神代桜：約1200年が上位3位だそうです。

見るより「さくらもち」が出てきて、春を感じる方もおいででしょう。これもまた、関西系と関東系があり、「さくら」ひとつでも話題は尽きません。あなたは、どちら派ですか。

。○○。

まる子の結まーる（皆様との交流の場です）

。○○。

●記念公開講演会「安全・安心な社会を目指して---水とは何か」を開催します

【東京下水道設備協会】

（一般社団法人）東京下水道設備協会では、5月14日（水）に北野 大氏を迎えて東京設備協会設立30周年記念公開講演会「安全・安心な社会を目指して---水とは何か」を京王プラザホテルで午後4時30分より開催します。講師の北野さんは東京都立大学大学院で博士課程を修了し、専門は環境科学です。明治大学工学部教授を経て現在、淑徳大学教授として活躍されています。映画監督としても活躍されている北野武さんの兄としても有名です

この講演では、安全と安心の相違、人は必ず間違いを起こすものであり、機械は必ず故障するという安全学の考え方、またフェールセーフとフォールトトレランスについて触れ、安全学の必要性について考えます。

次に水についてその環境とのかかわりから水の種々の性状及び資源としての水、水の社会的価値、さらには水質汚濁の現状などにも触れたいと思います。最後に今後の下水道の在り方も考えます。

お申し込みは、東京下水道設備協会の安藤宛へメール（下記）でお願いします。5月7日までに申し込み下さい。なお、受講料は無料です。また、お申し込みを頂いた方より先着順とし、定員超過の場合はご連絡申し上げるとのことです。

Eメール：andou@setubikyo.or.jp

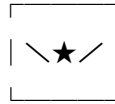
●今回から2回にわたり、4/1 付着任の機構ニューフェイスをご紹介します♪

※自己紹介はこちらから→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-4-14>

*/**

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2014. 4. 11 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀



第 1 0 0 号

4 月 1 日に国土交通省下水道事業課企画専門官に着任しました本田です。よろしく
お願い申し上げます。前任の吉澤に引き続いてホットインフォメーションを担当させ
て頂きます。引き続き、ご愛読のほど、よろしくお願い致します。第 1 0 0 号を発信で
きることに、大変光栄に感じております。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道事業における公共施設等運営事業等の実施に関するガイドライン（案）につ
いて【下水道企画課】

○福岡市「水素リーダー都市プロジェクト」【下水道企画課】

○ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな基本的考え方について
【流域管理官】

●「米国ハリケーン・サンディ下水処理場被害調査報告会」のご案内（南海トラフ地
震・東海地震に備えて）【EICA】

=====

○下水道事業における公共施設等運営事業等の実施に関するガイドライン（案）につ
いて【下水道企画課】

国土交通省では、「下水道施設の運営における PPP/PFI の活用に関する検討会」に
おけるこれまでの議論やパブリックコメント（2 月 10 日から 2 月 24 日まで意見募集）
の結果を踏まえ、本ガイドライン（案）を策定しましたのでお知らせします。また、
パブリックコメントで寄せられたご意見に対する当省の考え方と対応方針についても
ご報告します。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000033.html

○福岡市「水素リーダー都市プロジェクト」【下水道企画課】

4 月 4 日、福岡市長が記者会見で標記プロジェクトについてお話しされました。この
プロジェクトは下水道バイオガスを純度の高い水素に変えて、燃料電池自動車へ供給

する取り組みを実証するもので、国土交通省の H26 年度 B-DASH プロジェクトとして採択したものです。国土交通省としても、水素社会の実現に向けた取り組みとして期待しています。なお、市長記者会見の様相については下記 URL をご参照ください。

http://m.youtube.com/watch?feature=youtu.be&v=ewS_tEhtD8

○ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな基本的考え方について
【流域管理官】

「ストックを活用した都市浸水対策機能向上検討委員会」（委員長：古米弘明東京大学大学院教授）では、これまでの浸水対策のあり方を成熟化させ、ハード・ソフト対策を組み合わせた既存ストックを活用したより効率的かつ効果的な浸水対策の確立及び実施について審議の上、新たな基本的考え方をとりまとめましたのでお知らせします。

今後、国土交通省では、本考え方を踏まえた取り組みの水平展開を図っていきます。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000314.html

●「米国ハリケーン・サンディ下水処理場被害調査報告会」のご案内（南海トラフ地震・東海地震に備えて）【EICA】

2011 年 3 月に発生した東日本大震災によって、海岸線に立地している多数の下水処理場は甚大な津波被害を受けました。その後、2012 年 10 月には米国ニューヨーク州、ニュージャージー州にハリケーン・サンディが襲来し、おりからの大潮と重なり、海岸線に立地している多数の下水処理場は重大な高潮被害を受けました。

このため環境システム計測制御学会（EICA）は、2012 年 2 月に東日本大震災の下水処理場被害調査を取りまとめたこともあり、南海トラフ地震や東海地震、巨大高潮等に対して減災や早期復旧に向けての BCP 策定など、下水処理場がどのように備えればいいのかを学ぶために、「米国ハリケーン・サンディ下水処理場被害・復旧調査団」を編成して 2013 年 9 月に現地調査を行いました。

本報告会では、①下水道危機管理のレビュー、②米国下水処理場のハリケーン・サンディ被害の様相と復旧の経緯などについてニューヨーク市の下水処理場強靱化計画等も交えて報告します。その後、③米国ニュージャージー州で被災した 4 つの下水処理場について、被害と復旧の調査報告を行います。最後に、④東日本大震災下水処理場被害復旧との相違点、類似点を分析することにより、津波・高潮に備えるための提言を解説します。

なお、報告会では参加者にテキストとして「東日本大震災調査研究報告書Ⅱ（米国ハリケーン・サンディとの比較）」を配布します。

・開催日時等：東京会場 5 月 21 日（水）12：30～16：40（開場 12：00）

「北とぴあ」第二研修室 東京都北区王子 1-11-1

大阪会場 5 月 23 日（金）12：30～16：40（開場 12：00）

「大阪科学技術センター」小ホール 大阪市西区靱本町 1-8-4

・申込み、ご質問：参加お申し込みは、環境システム計測制御学会ホームページから、申込フォームを開き、必要事項を記入してメール送信してください。E-mail 又は FAX でも結構です。

<http://eica.jp/>

=====

【参考情報】

- ◆上智大、被災地向け水浄化装置開発－マイクロ波で殺菌<3/21 朝日新聞>
http://www.asahi.com/tech_science/nikkanko/Cnikkanko20140321004.html
- ◆汚泥再生処理施設「環境衛生センター」完成 串本・古座川町<3/21 紀伊民報>
<http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=270366>
- ◆バイオマス発電導入へ／高松市東部下水処理場<3/22 四国新聞>
http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20140322000144
- ◆上川河口部に沈殿ピット 諏訪湖浄化対策で計画<3/23 長野日報>
<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=30929>
- ◆兵庫県、津波被害想定をCG動画で公開へ 南海トラフ地震備え<3/25 日本経済新聞>
http://www.nikkei.com/article/DGXNASJB2403V_U4A320C1LDA000/
- ◆大腸菌群数3分の1に 猪苗代湖の水質改善<3/31 福島民報>
<http://www.minpo.jp/news/detail/2014033114836>
- ◆地下水くみ上げ実験本格化 液状化対策 我孫子市、今月から<4/1 東京新聞>
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20140401/CK2014040102000125.html>
- ◆川崎重工、山口県防府市に最新鋭のごみ焼却・バイオガス化複合施設を納入<4/1 EIC ネット>
<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=32159&oversea=0>
- ◆福島県 県中浄化センター 下水汚泥（指定廃棄物）の焼却実証事業の終了<4/1 EIC ネット>
<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=32162&oversea=0>
- ◆浸水予測図を公表／南海トラフ地震で県<4/1 四国新聞>
http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/social/20140401000210
- ◆下水道接続補助を開始 石垣市<4/2 八重毎日新聞>
<http://www.y-mainichi.co.jp/news/24687/>
- ◆宅地の液状化対策、合意進まず…浦安<3/31 YOMIURI ONLINE>
http://www.yomiuri.co.jp/homeguide/news/20140330-0YT8T50024.html?from=ytop_oss_txt2
- ◆県がCGハザードマップ更新 南海トラフの想定を反映<4/4 神戸新聞>
<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201404/0006834246.shtml>
- ◆燃料電池車：下水汚泥から水素取り出し利用 実証実験へ<4/4 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/select/news/20140405k0000m020073000c.html>
- ◆電源開発など、下水処理場の汚泥を固形燃料にする施設が大阪に完成、運営開始<4/4 日経BP 環境経営フォーラム>
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/emf/20140404/262358/>
- ◆土砂崩れ民家1棟全壊 いわき大雨で床下浸水6件<4/5 福島日報>
<http://www.minpo.jp/news/detail/2014040514929>

◆井堰を統合・改築へ 治水推進へ計画策定 竹田川流域圏<4/6 丹波新聞>

<http://tanba.jp/modules/news/index.php?page=article&storyid=1907>

◆津波ハザードマップ この活用が生死を分ける<4/8 紀伊民報>

<http://www.agara.co.jp/modules/colum/article.php?storyid=271330>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>
